



石塚 剛 議員

質問
デジタル田園都市国家構想に伴う
当市の取り組みと今後について

答弁
デジタル田園都市国家構想のトップ
ランナーとして取り組んでいく

石塚議員の
質問動画



議員

デジタル田園都市国家構想（以下「デジ田」）の内容を伺う。

市長公室長

デジタル技術により地方の社会課題解決、魅力向上、地方活性化を図るものとされている。

議員

デジ田に向けた当市の取り組みと計画について伺う。

市長公室長

令和5年度に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をデジ田に改訂する予定で、デジタルを活用した地方創生に取り組んでいく。

議員

デジタル化の鍵となるマイナンバーカード普及について伺う。

市民生活部長

令和5年2月末時点で、申請率73・2%、交付率65・1%で県、全国平均を上回っている。

議員

マイナンバーカード未取得者への対応を伺う。

市民課長

取得は任意だが、取得するメリットなど広報、周知を図っていく。

議員

デジタル推進委員の設置や今後の計画について伺う。

市長公室長

デジタル推進委員の検討、高齢者のスマホ教室等、デジタル化の浸透のための支援を行っていく。

議員

今後のデジタル社会について、市長の所見を伺う。

市長

デジタル化は、成長分野として注目されている。デジタル技術を生かした新たな地域経済、仕事の在り方、人口減少の中での労働生産性向上は重要な要素である。本田技術研究所との協定によるAIまちづくりは全国でも先進的な事例として国も注目している。また、当市の防災対策のデジタル化は、全国でもまれであり内閣府からお褒めもいただいた。今後も様々な分野でデジ田のトップランナーとして走れるように頑張っていく。

議員

今後デジタル化の推進で誰一人取り残さない未来創生の構築をお願いする。

議員

今後デジタル化の推進で誰一人取り残さない未来創生の構築をお願いする。

議員

今後デジタル化の推進で誰一人取り残さない未来創生の構築をお願いする。



吉原 晴照 議員

質問
小中学校適正配置
実施計画について

答弁
学校や地域の状況などを総合的に勘案し、
小中学校適正配置の取り組みを推進する

吉原議員の
質問動画



議員

第一段階の大花羽小学校と菅原小学校の現状を問う。

教育部長

両校の統合に係る詳細な調整も
整い令和5年4月1日から新たな
菅原小学校が開校となる。

議員

菅原小学校のスクールバス運行
について具体的に問う。

学校教育課長

利用基準を文部科学省基準の4
kmとしたうえで、利用できる最低
通学距離を3kmとし、利用料金は
無料。添乗員は原則として市によ
る配置はせず、必要な場合は利用
者間で協議検討することとした。

議員

第二段階の石下小学校、玉小学
校、豊田小学校の今後の進め方に
ついて方針を問う。

教育部長

石下地区の3校の統合時期、適
正配置時期について、適正配置実
施計画案では5年以内と公表して
いる。まずは、適正配置に係る保護
者等への意識調査を実施して、そ
こでの意見を踏まえ保護者対象の

説明会や意見交換を行いたい。

議員

石下東部3つの小学校の統合は、
現在の場所以外になることも考え
ると、方針を明確にしないと地域
の方や保護者からの意見で混乱す
ることが想定されるため、早急に
新校舎等も含めた検討を要望する。

中学校の適正配置計画の第一段
階になる水海道中学校と鬼怒中
校の今後の計画を問う。

教育部長

両校の生徒数は減少傾向となっ
ており、鬼怒中学校の令和5年4
月の新入生はゼロとなる。市長か
らは、統合の目標時期を令和7年
4月1日の提示があった。

議員

教育長に小中学校の適正配置計
画を進める上での所信を問う。

教育長

学校は、児童生徒が適切な集団
の中で、いろいろな考え方に触れ
お互いに認め合い、競い合うこと
が必要と考える。その中で、思考力
や表現力、判断力、問題解決能力
を育み、さらに社会性や規範意識
を身に付ける場所と認識している。